



メールユーザ用コントロールパネル ご利用ガイド

Ver.1

目次

第 1 章	はじめに	3
第 2 章	メールユーザ用コントロールパネルにログインする	3
第 3 章	メールアドレスのパスワードをする	5
第 4 章	転送先を設定する	7
第 5 章	自動応答の設定をする	9
第 6 章	SPAM フィルタの設定をする.....	14
6. 1.	SPAM フィルタとは	14
6. 2.	スパムフィルタの感度を調整する.....	14
6. 3.	スパムメールの件名にタグをつける	17
6. 4.	スパムメールを自動的に削除する.....	18
6. 5.	スパムメールをスパムフォルダに移動する.....	19
6. 6.	特定のドメインやメールアドレスをホワイトリストに登録する	20
6. 7.	特定のドメインやメールアドレスをブラックリストに登録する	22

第1章 はじめに

extremeserv.ではメールアドレスごとにメールユーザ用コントロールパネルをご提供しております。
このガイドではメールユーザ用コントロールパネルの各機能の操作方法をご案内いたします。

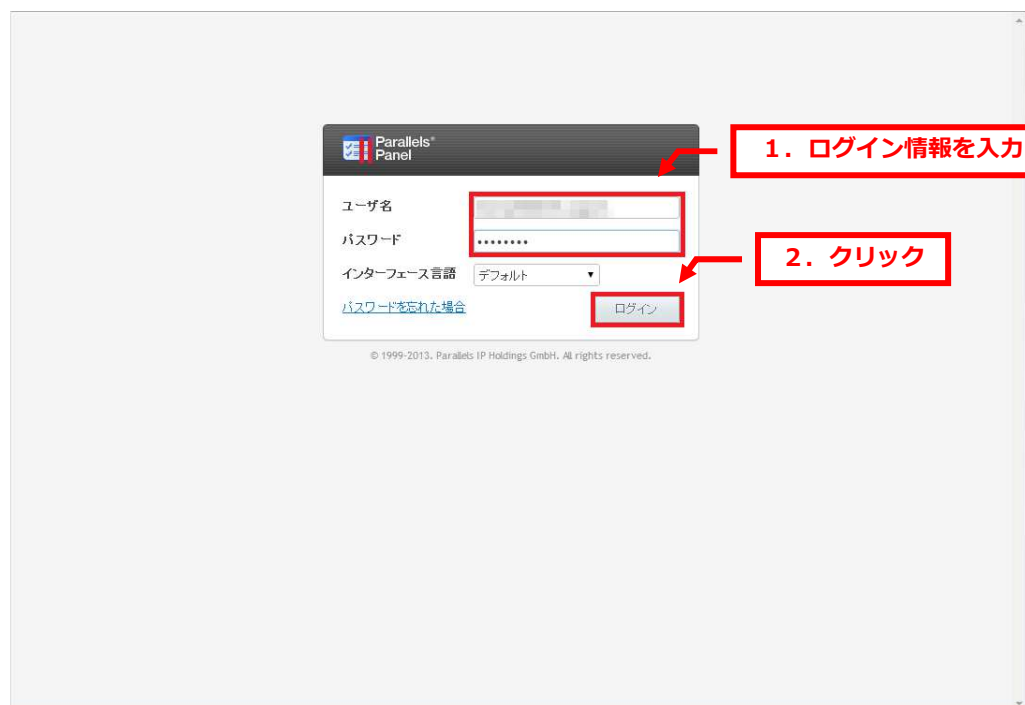
第2章 メールユーザ用コントロールパネルにログインする

1.

メールユーザ用コントロールパネルにログインします。

コントロールパネル URL : <https://お客様ドメイン名:8443>

- ・ログイン : お客様メールアドレスをご入力ください
- ・パスワード : メールアドレスに設定しているパスワードをご入力ください



※ブラウザによっては SSL 証明書のエラーが表示される場合がございますが、これはご利用ドメインで SSL 証明書を取得設置していないためです。SSL 通信自体に影響はございませんのでご安心ください。

SSL 証明書は有償のオプションサービスになりますが、ご希望の場合はお気軽にお問合せください。

2.

コントロールパネルが表示されます。



第3章 メールアドレスのパスワードをする

メールユーザ用コントロールパネルではメールのパスワードを変更できます。

※この操作をされますと、ご利用のメールソフトのパスワードも変更が必要です。

1.

「メールアカウント設定を変更」をクリックします。



2.

「全般」が表示されましたら、下記に新しいパスワードを入力後、「OK」をクリックします。

- ・パスワード：
- ・パスワード確認：

Parallels Panel
ログイン名: example@denet.support
契約: denet.support

メール アカウント

example@denet.support

全般 転送 メールエイリアス 自動応答 スпамフィルタ アンチウイルス

このメールアドレスに補助ユーザが関連付けられている場合(コントロールパネル上の「ユーザ」タブ参照)、このページでの変更は、この補助ユーザの設定にも適用されます。特に、メールアドレスとパスワードを変更すると、補助ユーザのログイン名とパスワードも変更されます。

メールアドレス example@denet.support

パスワード 中 (?)
このパスワードは、メールボックスへのアクセスと、Panelへのログインに使用されます(アドレスが補助ユーザに関連付けられている場合)。
生成 表示

パスワード確認

メールボックス オン

デフォルトサイズ 無制限 中、4,000KB使用

* 必須フィールド OK キャンセル

© Copyright 1999-2013, Parallels IP Holdings GmbH. All rights reserved.

3.

「メールアドレスの設定が保存されました。」が表示されましたら、変更完了です。

Parallels Panel
ログイン名: example@denet.support
契約: denet.support

メール アカウント

メール

情報: メールアドレス example@denet.support の設定が保存されました。

ウェブメールを用いて、メールアカウントの設定とスパム検出の精度向上を行い、メール処理を行います

ウェブメールを開く
ウェブブラウザを用いてメール処理を行います

メールアカウント設定を変更
メールアカウントの設定とサービス(メールボックスサイズの設定、メールボックスのオン/オフ切り替え、メール転送のセットアップ、メールエイリアス、受信メールへの自動応答)を構成します。

メールクライアントを構成する方法
メールボックスが機能するようにメールクライアントプログラムを構成する方法を説明します。

© Copyright 1999-2013, Parallels IP Holdings GmbH. All rights reserved.

1.

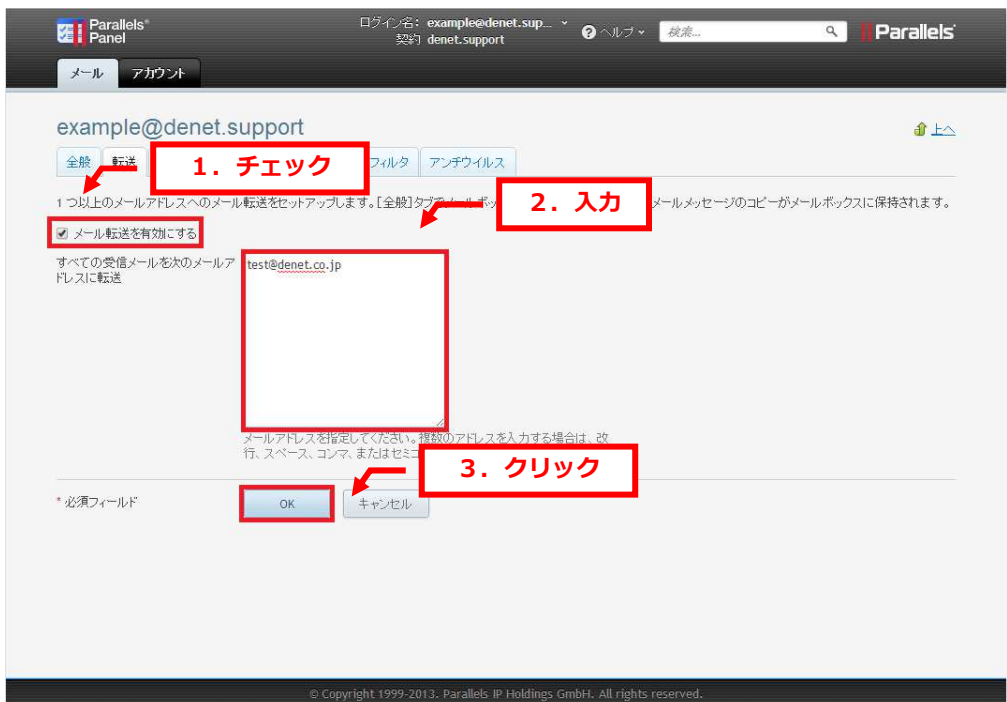
「転送」をクリックします。



2.

下記設定後、「OK」をクリックします。

- ・メール転送を有効にする：チェックを入れます
 - ・すべての受信メールを次のメールアドレスに転送：転送先メールアドレスを入力します
- ※複数のメールアドレスを設定できます。



3.

「メールアドレスの設定が保存されました。」と表示されましたら設定完了です。



The screenshot shows the Parallels Panel interface for a user named 'example@denet.support'. The 'メール' (Email) tab is selected. A red box highlights the '1. 確認' (1. Confirmation) step. A green message bar at the top states: '情報: メールアドレス example@denet.support の設定が保存されました。' (Information: The settings for the email address example@denet.support have been saved). Below this, there are three links: 'ウェブメールを開く' (Open Webmail), 'メールアドレス設定を変更' (Change email address settings), and 'メールクライアントを構成する方法' (How to configure email client). The footer contains the copyright notice: '© Copyright 1999-2013, Parallels IP Holdings GmbH. All rights reserved.'

第5章 自動応答の設定をする

自動応答とはメールを受信した際にあらかじめ設定したメールが自動的に返信される機能です。

1.

「自動応答」をクリックします。



2.

各項目を設定します。

- ・ 受動応答を有効にする：チェックを入れます
- ・ 自動応答メールの件名：任意で設定ください
- ・ メッセージフォーマット：テキスト形式または HTML を選択します
- ・ エンコーディング：ご希望のエンコードを選択します
- ・ 自動応答メールのテキスト：自動応答で返信される際の本文を入力します
- ・ 転送先：受信したメールを転送させる場合、転送先メールアドレスを入力します
- ・ 同一メールアドレスに対する自動応答は 1 日あたり：1 日で同じメールアドレスから届いたメールに自動応答で返信する回数を入力します。



自動応答を有効にする

自動応答メールの件名 *

メッセージフォーマット
 テキスト形式
 HTML

テキスト形式は、すべてのメールクライアントプログラムでサポートされているため、メール作成者が見ている通りのメッセージがすべての受信者に表示されます。HTML メッセージは、さまざまなフォントスタイルの書式付きテキストを入力できるため、見た目が悪くなります。ただし、メールクライアントによっては HTML メッセージをサポートしていないため、これらのクライアントを使用している受信者には書式付きテキストが表示されない場合があります。

エンコーディング
UTF-8

エンコーディングは、テキスト文字をどのように表示するかを決定します。推奨されるエンコーディングは UTF-8 です。

自動応答メールのテキスト

テキスト形式のみ。HTML は許可されません。タグはすべて無視されます。

転送先

自動応答の送信時に、オリジナルメッセージは指定のメールアドレスへ転送されます。

同一メールアドレスに対する自動応答は、1 日あたり * 回まで送信されます。

ファイルを添付する
 選択されていません

* 必須フィールド

© Copyright 1999-2013, Parallels IP Holdings GmbH. All rights reserved.

3.

自動応答メールにファイルを添付される場合は「ファイルを選択」をクリックします。

自動応答を有効にする

自動応答メールの件名 * Re: <request_subject>

メッセージフォーマット

● テキスト形式
○ HTML

テキスト形式は、すべてのメールクライアントプログラムでサポートされているため、メール作成者が見ている通りのメッセージがすべての受信者に表示されます。HTML メッセージは、さまざまなフォントスタイルの書式付きテキストを入力できるため、見た目が良くなります。ただし、メールクライアントによっては HTML メッセージをサポートしていないため、これらのクライアントを使用している受信者には書式付きテキストが表示されない場合があります。

エンコーディング UTF-8

エンコーディングは、テキスト文字をどのように表示するかを決定します。推奨されるエンコーディングは UTF-8 です。

自動応答メールのテキスト

ただいま出張中です。

テキスト形式のみ。HTML は許可されません。タグはすべて無視されます。

転送先 test@denet.support

自動応答の送信時に、オリジナルメッセージは指定のメールアドレスへ転送されます。

同一メールアドレスに対する自動応答は、1 日あたり * 1 回まで送信されます。

ファイル添付する

ファイルを選択 選択されていません

[新しい添付ファイルを追加](#)

* 必須フィールド

OK キャンセル

© Copyright 1999-2013, Parallels IP Holdings GmbH. All rights reserved.

4.

添付ファイルを選択後、「開く」をクリックします。

自動応答を有効にする

自動応答メール **開く**

メッセージフォーマット

エンコーディング

自動応答メール

転送先 test@denet.support

自動応答の送信時に、オリジナルメッセージは指定のメールアドレスへ転送されます。

同一メールアドレスに対する自動応答は、1 日あたり * 1 回まで送信されます。

ファイル添付する

ファイルを選択 選択されていません

[新しい添付ファイルを追加](#)

* 必須フィールド

OK キャンセル

© Copyright 1999-2013, Parallels IP Holdings GmbH. All rights reserved.

5.

選択したファイル名が表示されます。

自動応答を有効にする

自動応答メールの件名 * Re: <request_subject>

メッセージフォーマット

テキスト形式

HTML

テキスト形式は、すべてのメールクライアントプログラムでサポートされているため、メール作成者が見ている通りのメッセージがすべての受信者に表示されます。HTML メッセージは、さまざまなフォントスタイルの書式付きテキストを入力できるため、見た目が良くなります。ただし、メールクライアントによっては HTML メッセージをサポートしていないため、これらのクライアントを使用している受信者には書式付きテキストが表示されない場合があります。

エンコーディング UTF-8

エンコーディングは、テキスト文字をどのように表示するかを決定します。推奨されるエンコーディングは UTF-8 です。

自動応答メールのテキスト

ただいま出張中です。

テキスト形式のみ。HTML は許可されません。タグはすべて無視されます。

転送先

test@denet.support

自動応答の送信時に、オリジナルメッセージは指定のメールアドレスへ転送されます。

同一メールアドレスに対する自動応答は、1 日あたり * 1 回まで送信されます。

ファイル添付する

ファイルを選択

削除

新しい添付ファイルを追加

* 必須フィールド

OK キャンセル

© Copyright 1999-2013, Parallels IP Holdings GmbH. All rights reserved.

6.

設定後、「OK」をクリックします。

自動応答を有効にする

自動応答メールの件名 * Re: <request_subject>

メッセージフォーマット

テキスト形式

HTML

テキスト形式は、すべてのメールクライアントプログラムでサポートされているため、メール作成者が見ている通りのメッセージがすべての受信者に表示されます。HTML メッセージは、さまざまなフォントスタイルの書式付きテキストを入力できるため、見た目が良くなります。ただし、メールクライアントによっては HTML メッセージをサポートしていないため、これらのクライアントを使用している受信者には書式付きテキストが表示されない場合があります。

エンコーディング UTF-8

エンコーディングは、テキスト文字をどのように表示するかを決定します。推奨されるエンコーディングは UTF-8 です。

自動応答メールのテキスト

ただいま出張中です。

テキスト形式のみ。HTML は許可されません。タグはすべて無視されます。

転送先

test@denet.support

自動応答の送信時に、オリジナルメッセージは指定のメールアドレスへ転送されます。

同一メールアドレスに対する自動応答は、1 日あたり * 1 回まで送信されます。

ファイル添付する

ファイルを選択

削除

新しい添付ファイルを追加

* 必須フィールド

OK キャンセル

© Copyright 1999-2013, Parallels IP Holdings GmbH. All rights reserved.

7.

「メールアドレスの設定が保存されました。」が表示されましたら、設定完了です。



The screenshot shows the Parallels Panel interface. At the top, the user is logged in as 'example@denet.support'. The main content area is titled 'メール' (Mail). A green notification bar at the top of the content area contains the message: '情報: メールアドレス example@denet.support の設定が保存されました。' (Information: The settings for the email address example@denet.support have been saved). Below this message, there are three links: 'ウェブメールを開く' (Open Webmail), 'メールアドレスを変更' (Change email address), and 'メールクライアントを構成する方法' (How to configure email client). The footer of the page contains the copyright notice: '© Copyright 1999-2013, Parallels IP Holdings GmbH. All rights reserved.'

6. 1. SPAM フィルタとは

extremeserv.では SPAM フィルタ機能をご利用いただけます。

SPAM フィルタは SpamAssassin(スパムアサシン)と呼ばれるツールを利用して、スパムチェックを行います。

初期設定ではスパム判定されたメールは件名に「****SPAM****」タグが付いて配送されます。

また、スパムメールの自動削除やブラックリストなどの詳細設定を行うこともできますので、下記をご参照の上、ご利用ください。

6. 2. スпамフィルタの感度を調整する

SPAM フィルタではメール受信時に以下のような様々なポイントからメールを判定し、スコア値をつけています。

- ・過去にスパムメールが送られたことがある IP アドレスを経由している
- ・本文中に過去にスパムメールで宣伝されていたことがある URL がある
- ・スパムメール送信者が常用している大量メール送信ソフトの痕跡
- ・スパムメール送信者が多数いると思われる怪しい IP アドレスから送信されている
- ・メールの形式が標準的でない

SPAM フィルタはメールのスコア値が「スパムフィルタの感度」で設定した値を上回る場合にスパムメールとして判定します。

初期設定では、スパムフィルタの感度が 7 ポイント以上のメールをスパムメールと判定するよう設定されています。

この数値を変更することにより、お客様で SPAM フィルタの感度を調整することができます。数値が低いほど感度は高くなり、スパムメールとして認識される確率が高くなりますが、逆に数値が高いほど感度は低くなるので、スパムメールとして認識されにくくなります。スパムフィルタの感度の設定方法は下記の通りです。

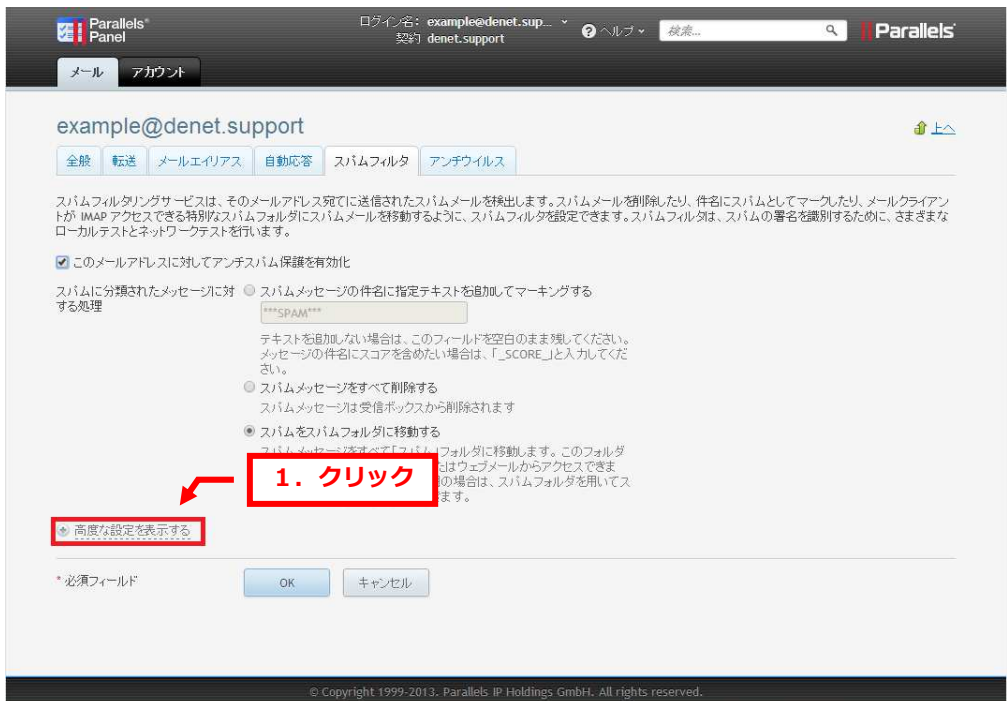
1.

「スパムフィルタ」をクリックします。



2.

「高度な設定を表示する」をクリックします。



3.

「フィルタ感度」の「スパムフィルタの感度」で値を変更後、「OK」をクリックします。

4.

「メールアドレスの設定が保存されました。」が表示されましたら、変更完了です。

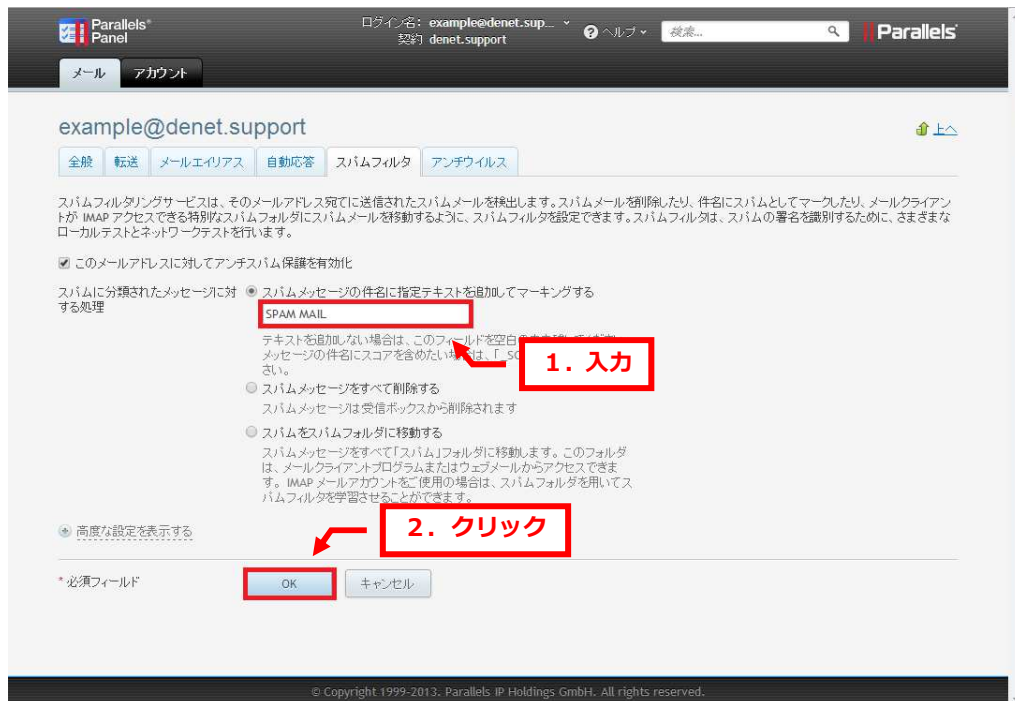
6.3. スпамメールの件名にタグをつける

SPAM フィルタではスパムメールと判定されたメールの件名の先頭に任意の文字列を追加することができます。

※初期設定では「****SPAM****」が追加されるようになっています。

1.

「スパムに分類されたメッセージに対する処理」で「スパムメッセージの件名に指定テキストを追加してマーキングする」に文字を入力後、「OK」をクリックします。



2.

「メールアドレスの設定が保存されました。」が表示されましたら、設定完了です。



6. 4. スпамメールを自動的に削除する

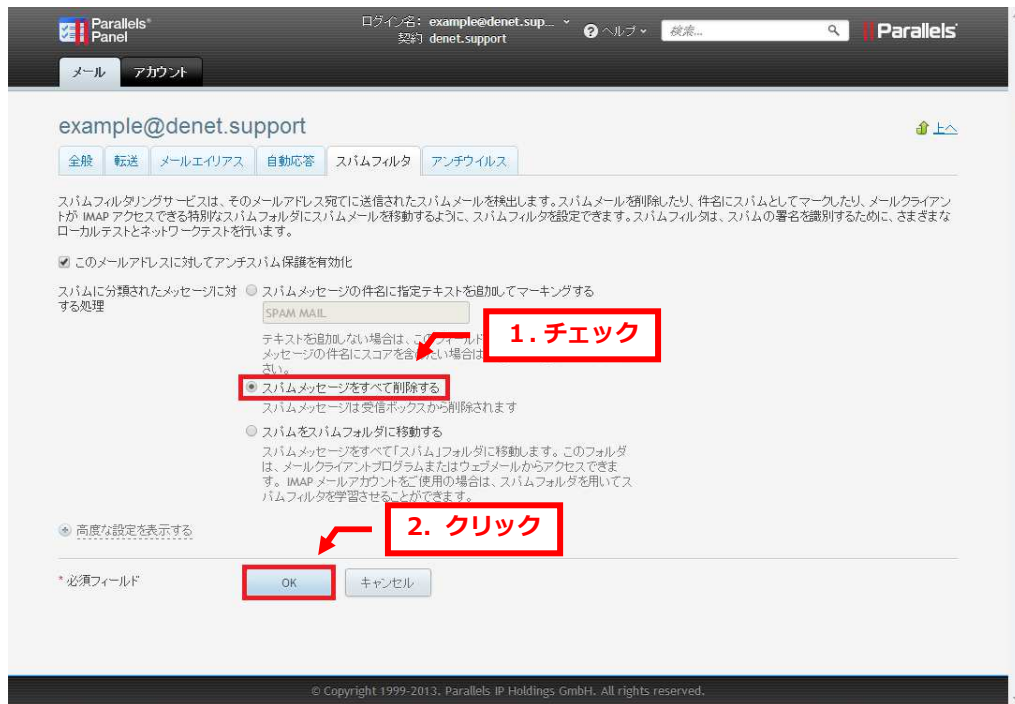
SPAM フィルタではスパムアサシンによってスパムメールと判定されたメールを自動的にサーバから削除することができます。

※この機能をご利用の場合、誤検知しますと、必要なメールも削除されてしまいます。

この設定をされる場合はホワイトリストを併用されることをおすすめいたします。

1.

「スパムに分類されたメッセージに対する処理」で「スパムメッセージをすべて削除する」を選択後、「OK」をクリックします。



2.

「メールアドレスの設定が保存されました。」が表示されましたら、設定完了です。

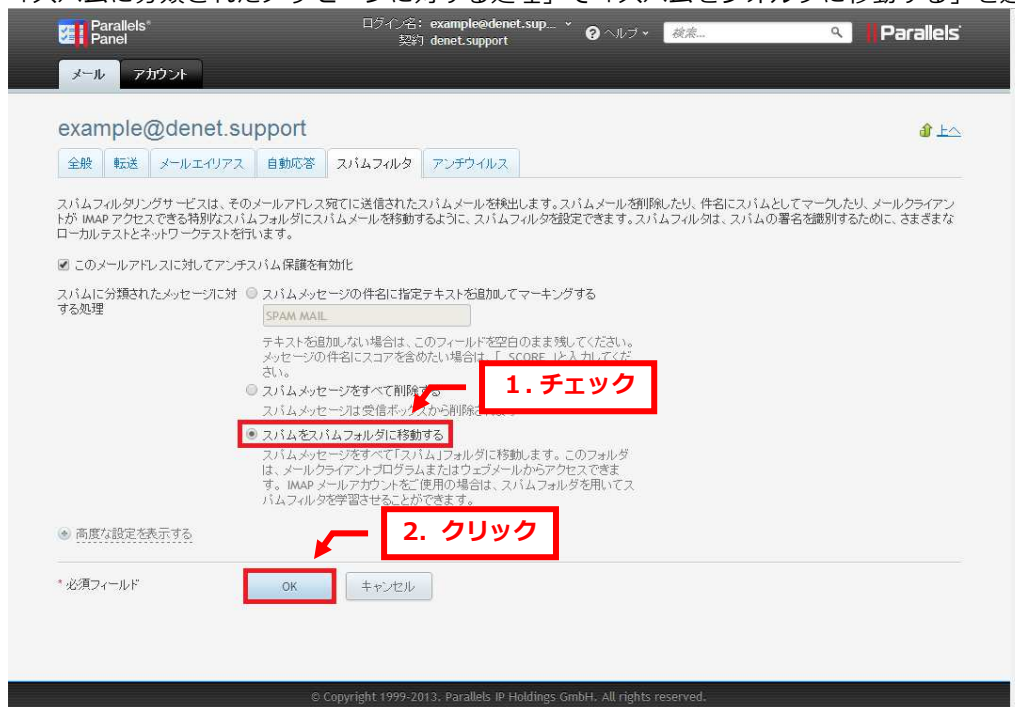


6. 5. スпамメールをスパムフォルダに移動する

スパムアサシンによってスパムメールと判定されたメールを自動的に Web メール迷惑メールフォルダ(SPAM)へ移動させることができます。

1.

「スパムに分類されたメッセージに対する処理」で「スパムをフォルダに移動する」を選択後、「OK」をクリックします。



2.

「メールアドレスの設定が保存されました。」が表示されましたら、設定完了です。



6. 6. 特定のドメインやメールアドレスをホワイトリストに登録する

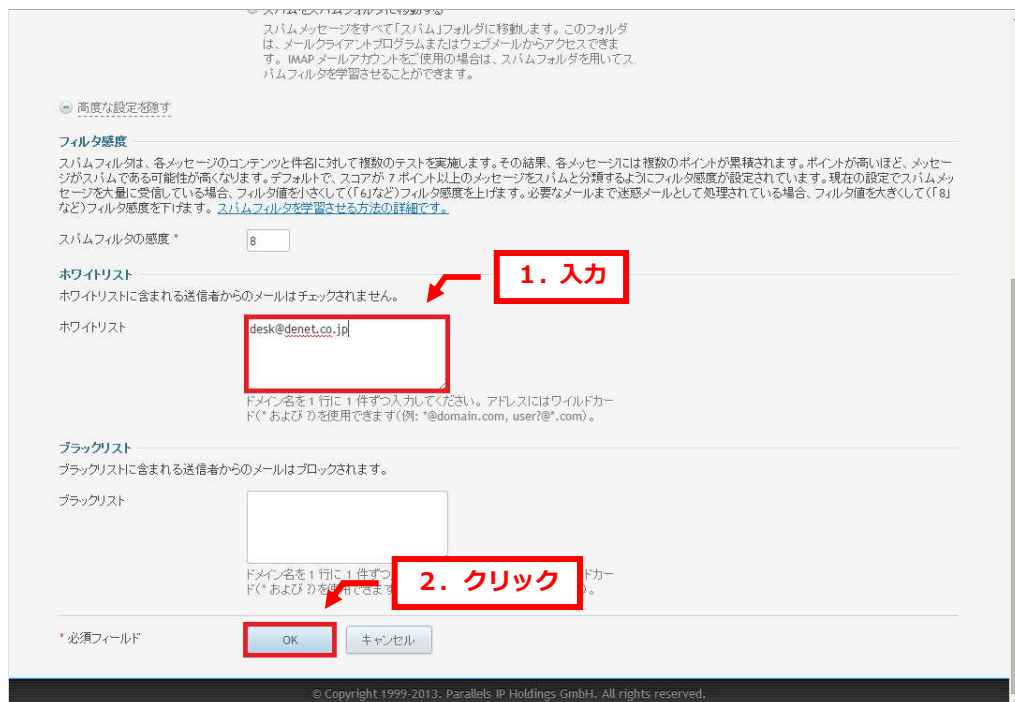
SPAM フィルタが誤って正常なメールをスパムメールと誤検知した場合に備えて、特定のドメインや送信者からのメールを受信許可することができます。

「8. 4. スパムメールを自動的に削除する」設定をされた場合はホワイトリストを併用されることをおすすめいたします。

※登録できるのは 100 件までです。

1.

「ホワイトリスト」に登録したいメールアドレスを入力後、「OK」をクリックします。



スパムメッセージをすべて「スパム」フォルダに移動します。このフォルダは、メールクライアントプログラムまたはウェブメールからアクセスできません。IMAP メールアカウントをご使用の場合は、スパムフォルダを用いてスパムフィルタを学習させることができます。

高度な設定を隠す

フィルタ感度

スパムフィルタは、各メッセージのコンテンツと件名に対して複数のテストを実施します。その結果、各メッセージには複数のポイントが累積されます。ポイントが高いほど、メッセージがスパムである可能性が高くなります。デフォルトで、スコアが 7 ポイント以上のメッセージをスパムと分類するようにフィルタ感度が設定されています。現在の設定でスパムメッセージを大量に受信している場合、フィルタ値を小さくして（「6」など）フィルタ感度を上げます。必要なメールまで迷惑メールとして処理されている場合、フィルタ値を大きくして（「8」など）フィルタ感度を下げます。[スパムフィルタを学習させる方法の詳細です。](#)

スパムフィルタの感度 *

ホワイトリスト

ホワイトリストに含まれる送信者からのメールはチェックされません。

ホワイトリスト

ドメイン名を 1 行に 1 件ずつ入力してください。アドレスにはワイルドカード（* および ?）を使用できます（例: *@domain.com, user?@.com）。

ブラックリスト

ブラックリストに含まれる送信者からのメールはブロックされます。

ブラックリスト

ドメイン名を 1 行に 1 件ずつ入力してください。アドレスにはワイルドカード（* および ?）を使用できます。

* 必須フィールド

© Copyright 1999-2013. Parallels IP Holdings GmbH. All rights reserved.

2.

「メールアドレスの設定が保存されました」が表示されましたら、設定完了です。



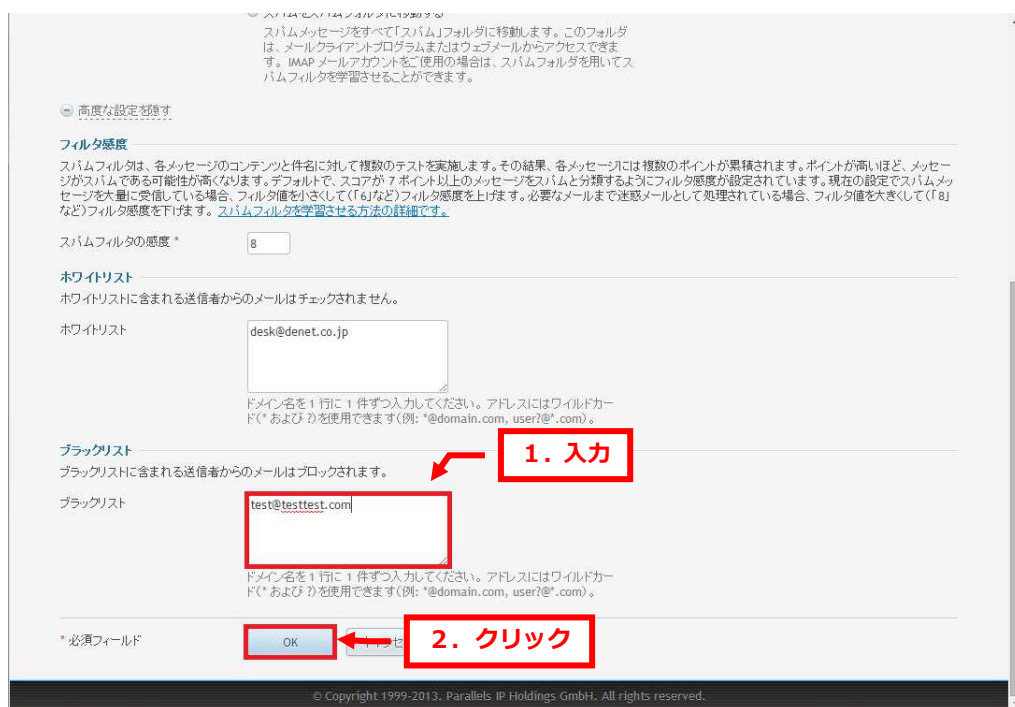
6.7. 特定のドメインやメールアドレスをブラックリストに登録する

SPAM フィルタにはブラックリストの機能があり、ブラックリストに登録したドメインまたはメールアドレスから届いたメールはスパムとして処理されます。ブラックリストには完全なメールアドレス、またはワイルドカード(*)を使ったパターンで登録できます。(例: *@example.com と記入すると、example.com ドメインからのメールを全てスパムメールと判定します)

※登録できるのは 100 件までです。

1.

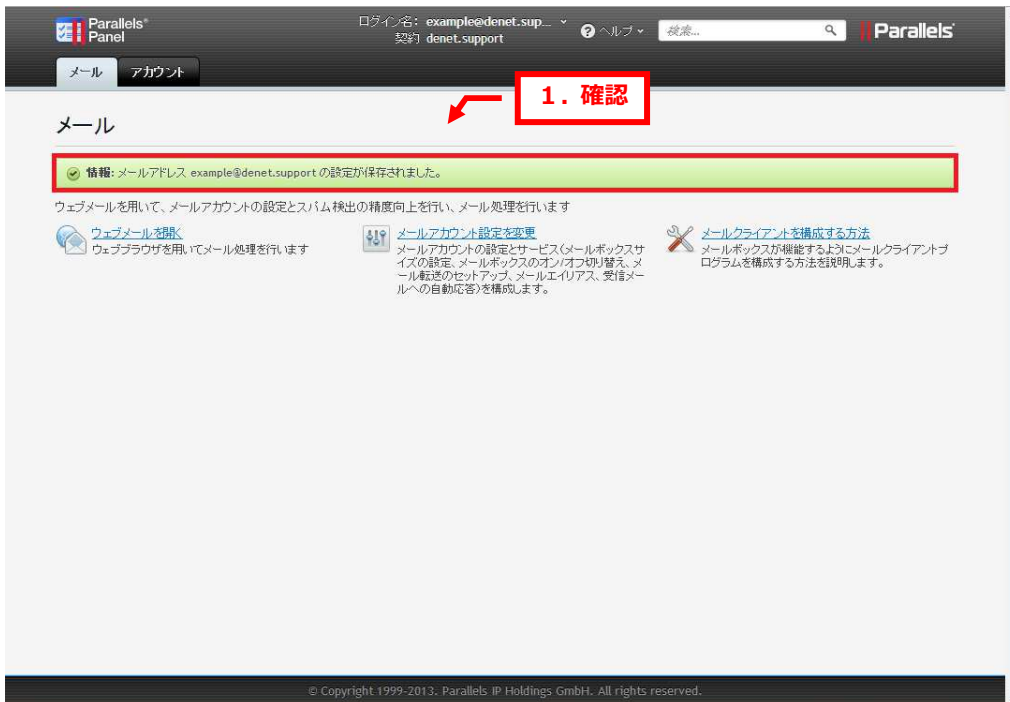
「ブラックリスト」に登録したいメールアドレスを入力後、「OK」をクリックします。



The screenshot shows the 'Spam Filter' settings page. At the top, there is a section for 'Spam Filter Sensitivity' with a slider set to 8. Below that is the 'Whitelist' section with a text input field containing 'desk@denet.co.jp'. The 'Blacklist' section is highlighted with a red box and contains a text input field with 'test@testtest.com'. A red arrow points from a box labeled '1. 入力' to the input field. Below the input field, there is an 'OK' button highlighted with a red box and a red arrow pointing to it from a box labeled '2. クリック'. The page footer contains the copyright notice: '© Copyright. 1999-2013. Parallels IP Holdings GmbH. All rights reserved.'

2.

「メールアドレスの設定が保存されました」が表示されましたら、設定完了です。



ご注意

- 本書の内容の一部または全部の無断転載を禁じます。
- 本書の内容は予告無く変更することがあります。
- 本書内で使用している画面キャプチャーはお客様の環境によって異なる場合があります。
- 「extremeserv.」のロゴおよび名称は株式会社ディーネットの商標です。
- その他の商品名、会社名は各社の商標または登録商標です。

2014年5月 第1版発行 編集著作 株式会社ディーネット

【お問い合わせ先】

株式会社ディーネット

〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜 2-6-11 北浜エクセルビル 5F

フリーダイヤル : 0120-3889-80 (受付時間 : 平日 9:00~18:00) ※土日祝除く

FAX : 0120-3889-40

URL : <http://extremeserv.net/>

e-mail : info@denet.co.jp